

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年6月8日（月）

2 確認箇所

- ・雨水回収タンク（J 2 及び J 3 雨水回収タンクエリア）（図 1）
- ・瓦礫類一時保管エリア J（図 1）

3 確認項目

- （1）雨水回収タンクの設置状況
- （2）瓦礫類一時保管エリア J の状況

4 確認結果の概要

（1）雨水回収タンクの設置状況

東京電力では、タンクエリアの堰内に溜まった雨水について、雨水回収タンクに集め、放射能濃度が散水基準を満足していることを確認した上で、計画的に構内に散水している。

一方、基準を満たしていない雨水については、逆浸透膜（RO）※で処理し、散水基準を満足していることを確認した上で、構内に散水している。

今回は、J 2 及び J 3 雨水回収タンクエリアの状況について確認した。

（前回確認：令和7年10月9日）（写真1）

※逆浸透膜（RO）：水は通すがイオンや塩類など水以外の不純物は透過しないろ過膜の一種。これにより、雨水に含まれる放射性物質等の不純物を除去する。

- ・雨水回収タンクのサンプリング弁及び払出弁等は、南京錠及びチェーンで固定されており、安易に操作できないような措置が講じられていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、雨水移送配管や散水ラインからの漏えい等は認められなかった。（写真3）

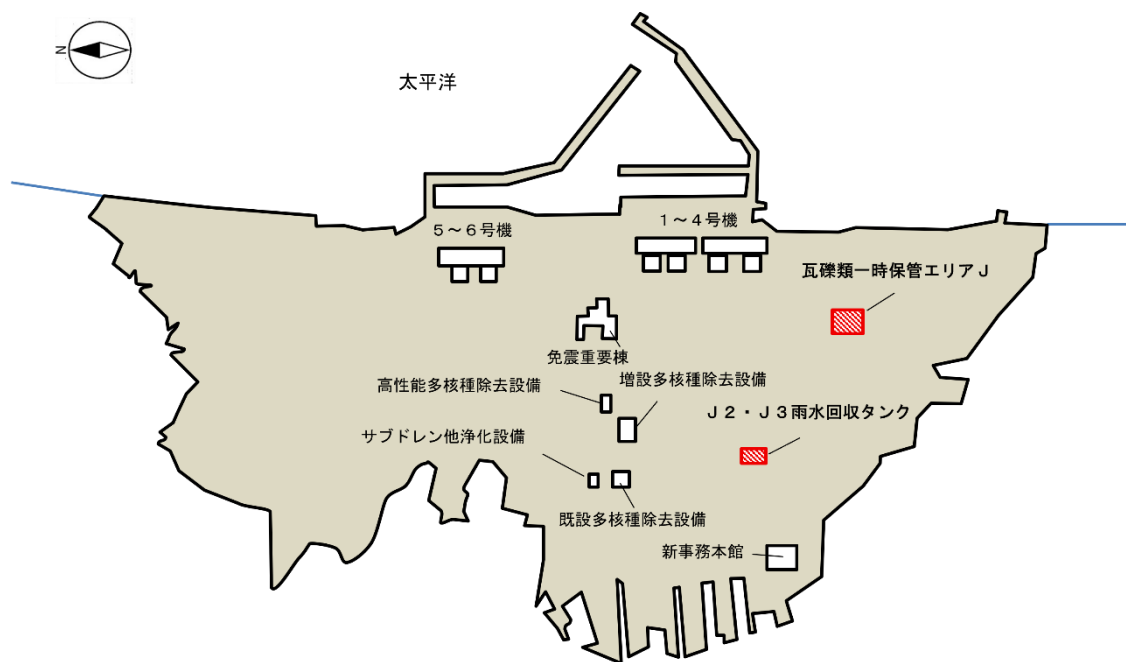
（2）瓦礫類一時保管エリア J の状況

東京電力では、全ての固体廃棄物（ただし、水処理二次廃棄物および再利用・再使用対象を除く）の屋外における一時保管を令和10年度中に解消することを目指している。

今回は、瓦礫類が屋外で一時保管されているエリアの一つである、構内の廃棄物埋立処理施設（管理型最終処分場）の上に設置された、瓦礫類一時保管エリア J（以下、「エリア J」という。）の状況を確認した。（前回確認：令和7年7月10日）

- ・エリア J では、1 m³ コンテナが 2～4 段積みで保管されており、コンテナの上部は荷崩れ防止のため養生ネットで覆われていた。（写真4）

- ・コンテナの一部には錆が生じ腐食しているものも見受けられたが、確認した範囲で廃棄物の飛散や流出は見られなかった。(写真5)
- ・エリアJ周辺の側溝に詰まりはなく、エリア内も雑草がきれいに取り除かれていた。(写真6)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) J2及びJ3雨水回収タンク (700m³ × 2基)
※東側から撮影



(写真2) J2タンク払出弁の状況



(写真3) J 2 及び J 3 雨水回収タンク
からの散水移送ラインの状況



(写真4-1) エリア J の外観
※北東側から撮影



(写真4-2) エリア J の外観
※南西側から撮影



(写真5) 錆が生じているコンテナの
状況



(写真 6－1) エリア J 内の側溝の状況
※西側から撮影



(写真 6－2) エリア J 内の側溝の状況
※南側から撮影



(写真 6－3) エリア J 内の状況
※西側から撮影

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。